

イラン短期研修 報告書

早稲田大学 先進理工学部 電気・情報生命工学科 4年

谷川 郁

本研修に参加するにあたって、個人的に興味があったのは、①経済制裁があったからこそ特有の発展をとげたイランの科学技術とその背景にあるイランの歴史経済・文化と、②高等教育に占める女性の割合が高く、とくにSTEM分野での女性の活躍が有名であるイランでの現地の女性、学生との交流現地、でした。またイスラム国家としての宗教的な風習や習慣についても興味があり、いろいろなことを自分の目でみて肌で感じて吸収したいという気持ちで臨みました。

渡航前、中東というと漠然と「危険な地域である」というイメージでひとくくりにまとめて捉えてしまっていたのですが、イランは比較的治安も良く、人もとても暖かく、食事もおいしく、とても楽しい10日間を過ごすことができました。10日間という短い間で、私の見ることはイランのほんの一面にすぎませんが、またイランを訪れてみたいと思うと同時に周辺の国にも足を運びたいと思えるほど、研修前よりイランという国を、中東というエリアを身近に感じることができるようになったのはとても良かったです。

プログラム前半のSIRでの講義（イランの政治・経済・外交・核合意についてなど）を通じて、中東におけるイランの立ち位置や複雑な周辺諸国との関係性などを学びました。教授の方々や学生さんの個人的な見解が直接聞けたのは貴重な経験でした。知識不足のため、ディスカッションでは反省点も多かったですが、今後学んでいきたいと思うよいきっかけになりました。

テヘランの街中を歩いたり、バスから外を眺めているだけでもあらゆる発見がありました。例えば、自動車の形や大きさが違う。そして走っているのは国産車がほとんどで、部品も9割国内から内部調達だとのことでした。U字溝の幅が広いカバーのない排水溝に落ちそうになったり、パーキングメーターだと思っていたものが実は募金箱だったり、ちょっとした発見にうきうきしました。

プログラム後半はIsfahan, KashaとQomを観光しました。それぞれ違った良さがありました。共通して感じられたのはイランのひとびとのホスピタリティ精神。絨毯屋を訪れた時、とても高価な売り物の絨毯の上でもおかまいなしにお茶とお菓子をまかなうイラン人のおもてなし精神に驚かされました。また、イランのことをもっと知ってほしいという彼らの気持ちがとても伝わってきました。滞在中は2時間おきに食事やおやつか紅茶・コーヒーをいただいていた。

女性のファッションについて。イランではヒジャブが女性のファッションの一部であり、いろんな着こなし方をしている女性が見受けられました。慣れてしまえばとても快適で、首まわりを暖かく保つことができ機能的とさえ思いました。イランの学生さんが部屋の中でヒジャブやチャドルを脱

ぐとまた違った雰囲気になるのがまた素敵だと思いました。

学びとしては、普段学ばないような政治経済や国際関係について議論する機会を通じて、自分の研究分野をよりマクロな視点から捉え直すことができ、視野を広げることができました。

多様なバックグラウンドのメンバーを持つ日本メンバーの人々との出会いもとても貴重でした。シンガポール、インド、ブータン留学経験者、中国愛好家など、アジアの端から端までの話を聞くことができ、イラン・中東にとどまらずアジア全体へ興味が広がりました。そして、違う専攻やバックグラウンドを持ちながら同じテーマについて考えたり話し合ったりするのはとても刺激的でした。

2. プログラムに対する感想、改善できるところ

- ✧ 駐イラン日本大使館の方々と2日目の夜お話する機会がありました。いろいろな経歴の方がいらっしゃる、それぞれのイランに対する思いなどが聞けてとても興味深かったと同時に、自らのキャリアを考えるにあたって参考になりました。一方で、10日間の研修期間の後半にイランを見たり聞いたりした後でこの機会を設けていただけたらより嬉しかったです。
- ✧ 今回のSIR学生とのフリーディスカッションでは、当日のディスカッション直前にテーマを発表され比較的フォーマルな形のものでした。テーマが決まっている場合は事前にテーマを教えていただけると、調べるなどの準備をした上でより深い議論ができたと思います。または、フリーディスカッションで自由に疑問などを投げ合えるフランクな時間という設定でもよい気がしました。
- ✧ 研修では普段学ぶ機会のない政治経済・国際関係の講義や議論を通して、自分の専攻や研究分野、そしてその延長線上についていつもとは違う視点で振り返ることができたのはとても良かったです。同時に、次回訪れた時は理工学を専攻している学生との交流や、技術・産業関連の機関の訪問もしてみたいとも思いました。今後、分野で特化したプログラムを増やす、もしくはイラン側でSIRと他大学との提携などがあると面白いと思います。

10日間ではとてもイランを知るには短すぎますが、新たな興味・関心がたくさん湧き出てきた発見の多い10日間でした。この経験を今後に活かしていきたいです。

このような研修に参加する機会をくださった笹川平和財団の皆様、どうもありがとうございました。